

図1 コモレビフォーラム (中央)  
Fig.1 Komorebi Forum (center).



図2 建物外観 夜景  
Fig.2 Appearance of the building, night view.



図3 コモレビフォーラム (楽屋・練習室前)  
Fig.3 Komorebi Forum (the area before the dressing room and the practice room).

## 概 要

遊楽館は石巻市（旧河南町）にある文化体育複合施設である。ホール、生涯学習施設、アリーナ、室内プールなどの市民のためのさまざまな活動の場を1つの大屋根で統合することで、多様なプログラムが共存する価値の最大化を狙っている。この大屋根は造成前の小山のシルエットになぞらえた、ゆるやかな3次曲面である。また、木々の葉っぱ模様をプリントしたトップライトを設けることで、木漏れ日の射す森を再現している。

この共用空間を木漏れ日の射す都市広場という意味を込めて「コモレビフォーラム」と名づけた。この共用空間は廊下として機能するだけでなく、さまざまな家具を設けることで活動や交流、休息などの独立した利用を促し、さらに諸室を媒介して活動の相乗効果をもたらす。都市的な賑わいと自然の安らぎをあわせ持つアンビバレンスな空間である（図1～図3）。

## 照明設備

昼には木漏れ日が降り注ぎ、夜はアンビエント照明を主とした大空間の照明環境を実現させた。施設全体を、タスクアンドアンビエント照明で計画し、個々の部屋においても機能光と環境光をとともに整えることで、空間を創る豊かな建築要素に絡ませ、歩くたびに新しい光に出会える面白さがある。光色については、天に向かう白色と、足元を温かく照らす暖色で色温度計画を区分けし、視線・空間の奥行き感を出すことにも成功している（図4、図5）。

「かなんホール」では、300W ハロゲン電球投光器33台によるアッパー光と、壁面組み込み蛍光ランプとの、間接光のみで計画しており、竣工後実測では250 lx（客席面高さ）を確保している。

傾斜している天井面が空間における反射板となって温かい光が回り込み、落ち着きや品位を醸し出す新しいホール空間照明を実現させている（図6、図7）。

個々の空間、用途における機能的に必要な明るさを、建築素材から“滲み出る光”で立体的に構成することで、複合文化施設として質の高い光環境を創り出している。

所在地 宮城県石巻市

竣工 平成17年2月

施主 石巻市

設計 (株)久米設計

資料提供 坂上真理（松下電工(株)）

図1、図3、図6：©(株)新建築社

図2：©(株)久米設計

図4、図5、図7：©松下電工(株)

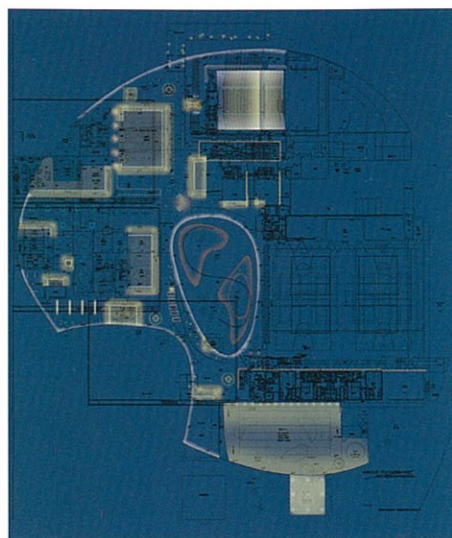


図4 全体照明計画図  
Fig.4 Overall lighting plan.

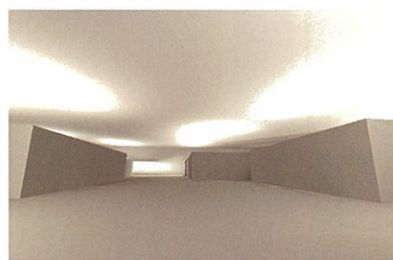


図5 コモレビフォーラムアンビエント照明検討  
Fig.5 A study of the ambient lighting for Komorebi Forum.



図6 かなんホール  
Fig.6 Kanan Hall.

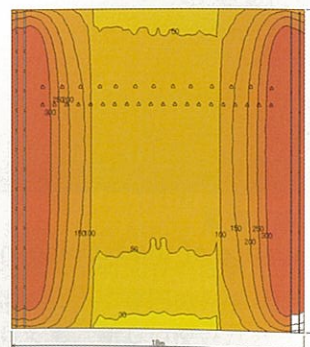


図7 かなんホール照度分布図  
Fig.7 Illuminance distribution over Kanan Hall.